

## 平成27年8月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年4月9日

上場会社名 株式会社AFC-HDアムスライフサイエンス  
 コード番号 2927 URL <http://www.ams-life.com/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役  
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役社長室長  
 四半期報告書提出予定日 平成27年4月14日  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (アナリスト向け)

上場取引所 東

(氏名) 浅山雄彦  
 (氏名) 白鳥弘之  
 配当支払開始予定日

TEL 054-281-5238  
 平成27年5月25日

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成27年8月期第2四半期の連結業績(平成26年9月1日～平成27年2月28日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年8月期第2四半期	6,778	△1.6	352	0.5	327	3.2	214	4.7
26年8月期第2四半期	6,887	△5.4	351	△26.9	317	△28.1	204	△15.1

(注) 包括利益 27年8月期第2四半期 229百万円 (2.4%) 26年8月期第2四半期 224百万円 (△22.8%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年8月期第2四半期	18.00	17.68
26年8月期第2四半期	17.22	17.14

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年8月期第2四半期	16,736	6,788	39.9
26年8月期	16,811	6,570	38.4

(参考) 自己資本 27年8月期第2四半期 6,684百万円 26年8月期 6,451百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年8月期	—	5.00	—	5.00	10.00
27年8月期	—	5.00	—	—	—
27年8月期(予想)	—	—	—	10.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当金の内訳 記念配当 5円00銭

### 3. 平成27年 8月期の連結業績予想(平成26年 9月 1日～平成27年 8月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	14,000	2.0	750	32.9	700	37.9	400	41.4	33.42

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
  - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
  - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
  - ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	27年8月期2Q	12,189,720 株	26年8月期	12,189,720 株
② 期末自己株式数	27年8月期2Q	222,339 株	26年8月期	311,739 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	27年8月期2Q	11,895,912 株	26年8月期2Q	11,877,981 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績の見通し等将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。なお、業績予想に関する事項は、四半期決算短信の添付資料4ページ「(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	5
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	5
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	5
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	5
3. 四半期連結財務諸表	6
(1) 四半期連結貸借対照表	6
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	10
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	11
(継続企業の前提に関する注記)	11
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	11
(セグメント情報等)	11

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成26年9月1日～平成27年2月28日）におけるわが国経済は、企業収益の改善が見られるなど緩やかな回復基調が続きました。しかしながら、個人消費の弱さや海外景気の下振れなど懸念要因もあり、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当社グループが属する健康食品市場は、消費増税による消費者の購買意欲の低下が長期化したことに加え、広告投入による顧客獲得競争や価格競争の面で企業間の競争は一段と激しさを増しており、厳しい経営環境が続いております。一方、本年4月に施行される新たな機能性表示制度に関心や期待が高まっており、今夏にも対応商品の上市が始まると見られます。

このような状況の下、主力のOEM部門においては受注が堅調に推移し増収となったものの、前期に行った不採算店舗の閉鎖が影響し店舗販売部門が減収となったことや、前述の購買意欲低下の影響を受け通信販売部門が減収となったことなどにより、当第2四半期連結売上高は6,778百万円（前年同期比1.6%減）となりました。損益面については経費節減効果により、営業利益352百万円（前年同期比0.5%増）、経常利益327百万円（前年同期比3.2%増）、四半期純利益は214百万円（前年同期比4.7%増）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

#### ①ヘルスケア事業

##### ・OEM部門

主力事業である当部門は、前年同様に関節対応や美容関連などの定番素材が堅調に推移したことに加え、青汁やスムージーなど一般食品寄りの商品が好調を維持し、売上高は前年同期比2.4%増となりました。機能性表示制度への対応については、取引先と協力して取り組んでまいります。

##### ・海外部門

アジア地域を主な取引先とする当部門は、中国における規制が厳しく輸出が困難となったものの、フィリピンにおいて美容商材が安定的に推移したほか、シンガポールのAFC代理店において新商品の投入が好結果となり、売上高は前年同期を上回る結果となりました。

##### ・通信販売部門

インターネット販売においては顧客ニーズに合った商品開発、広告展開が奏功し増収となったものの、第1四半期での購買意欲の低下による電話受注販売の前年同期割れの影響が大きく、部門全体の売上高は前年同期を下回る結果となりました。利益面においては、既存顧客への販売促進活動を見直すなど広告効率の向上を図っており、改善しております。

##### ・卸販売部門

主要販路であるドラッグストアや量販店などにサプリメントの新シリーズ「ハートフルシリーズ」の導入を進めました。しかしながら、店頭における販売促進不足により、売上高は前年同期を下回る結果となりました。

課題である店頭での商品PRの方法やブランドイメージの訴求など販売促進活動の見直しを図るとともに、顧客ニーズに合った商品開発を継続してまいります。

##### ・店舗販売部門

当部門は“百貨店における店舗販売”“百貨店とタイアップした通信販売”“百貨店外商部での販売強化”の3つを販路として強化しております。店舗販売では商品の良さをより実感していただけるよう「お試し品」の内容量と価格を見直し、リピーターの確保に努めました。また、首都圏および大阪においては訪日外国人観光客による売上増加がありました。しかしながら、前期に行った不採算店舗の閉鎖が影響し、当部門の売上高は前年同期を下回る結果となりました。

以上の結果、ヘルスケア事業の業績は、売上高6,091百万円（前年同期比1.4%減）、営業利益552百万円（前年同期比1.8%増）（全社費用調整前）となりました。

## ②医薬品事業

医薬品市場は、大別して医師の処方箋に基づき病院・診療所、調剤薬局で購入する医療用医薬品市場と、医師の処方箋が要らず、ドラッグストアで購入する一般用医薬品市場に分けられます。

医療用医薬品事業は、新たな取扱製品を投入したことに加え、主力の製造承認を取得した医療用漢方製剤40品目について、医師、薬剤師及び医薬品卸の営業担当者に対して、品質・安全性の確保に対する取り組みのほか、同業他社の製品と比べ効能効果の同等性が極めて高いこと及び患者さんの経済的負担（医療費の自己負担）が小さいことなどを説明してきました。

また、一般用医薬品事業についても、積極的な営業活動及び販売促進活動などを行いました。

以上の結果、本草製薬㈱の医療用医薬品の売上高は前年同期を若干上回ったものの、ドラッグストア向けの一般用医薬品は、工場移転に伴う欠品の影響もあり前年同期の売上高を下回りました。なお、㈱エーエフシーにおいて医薬品を販売していた不採算店舗を閉鎖したことが影響し、医薬品事業全体では、売上高が687百万円（前年同期比3.4%減）、営業利益52百万円（前年同期比2.1%減）となりました。

## （2）財政状態に関する説明

### ①流動資産

当第2四半期連結会計期間末における流動資産合計は、前連結会計年度末に比べ64百万円減少し、8,052百万円となりました。この減少要因は主として、原材料及び貯蔵品が92百万円、受取手形及び売掛金が51百万円増加した反面、有利子負債の返済を進めたことなどにより現金及び預金が208百万円減少したことによるものであります。

### ②固定資産

当第2四半期連結会計期間末における固定資産合計は、前連結会計年度末に比べ11百万円減少し、8,683百万円となりました。この減少要因は主として、当社において既存倉庫の隣接地を取得したことにより、土地が164百万円増加したものの、減価償却などにより有形固定資産全体では24百万円減少したことによるものであります。

### ③流動負債

当第2四半期連結会計期間末における流動負債合計は、前連結会計年度末に比べ313百万円減少し、6,319百万円となりました。この減少要因は主として、当社の社債が償還期限が1年内となり固定負債から振替られた影響などにより流動負債のその他が283百万円増加したほか、支払手形及び買掛金が101百万円増加した反面、長期借入金への借換えなどにより短期借入金が779百万円減少したことによるものであります。

### ④固定負債

当第2四半期連結会計期間末における固定負債合計は、前連結会計年度末に比べ19百万円増加し、3,628百万円となりました。この増加要因は主として、流動負債への振替などにより社債は350百万円減少した反面、短期借入金の借換えにより長期借入金が443百万円増加したことによるものであります。

### ⑤純資産

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は、前連結会計年度末に比べ217百万円増加し、6,788百万円となりました。この増加要因は主として、四半期純利益の計上により利益剰余金が154百万円増加したほか、新株予約権行使による自己株式の交付により、自己株式が65百万円減少したものであります。

(キャッシュ・フローの状況)

当第2四半期連結累計期間における連結ベースの現金及び現金同等物(以下、「資金」という。)は、前連結会計年度末に比べ226百万円減少し、3,501百万円となりました。

①営業活動によるキャッシュ・フロー

営業活動の結果得られた資金は496百万円(前年同期224百万円の収入)となりました。

これは主として、たな卸資産の増加額85百万円、売上債権の増加額52万円などにより資金が減少した反面、税金等調整前四半期純利益328百万円、減価償却費214百万円、仕入債務の増加額100百万円などにより資金が増加したことによるものであります。

②投資活動によるキャッシュ・フロー

投資活動の結果使用した資金は202百万円(前年同期320百万円の支出)となりました。

これは主として、有形及び無形固定資産の取得による支出200百万円などにより資金が減少したものであります。

③財務活動によるキャッシュ・フロー

財務活動の結果使用した資金は520百万円(前年同期589百万円の支出)となりました。

これは主として、長期借入金の返済による支出336百万円、配当金の支払額59百万円などにより資金が減少したことによるものであります。なお、短期借入金から長期借入金への借換えを行ったことにより、短期借入金の純減少額700百万円、長期借入れによる収入700百万円となっております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

連結業績予想につきましては、平成26年10月10日の「平成26年8月期 決算短信」で公表いたしました通期の連結業績予想に変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	4,119,317	3,910,427
受取手形及び売掛金	1,689,861	1,741,547
商品及び製品	870,795	901,565
仕掛品	552,629	516,592
原材料及び貯蔵品	662,069	754,926
その他	227,951	231,458
貸倒引当金	△5,602	△4,181
流動資産合計	8,117,022	8,052,336
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	3,047,322	2,947,389
土地	4,075,187	4,240,144
その他(純額)	885,348	795,617
有形固定資産合計	8,007,859	7,983,151
無形固定資産		
のれん	6,122	5,612
その他	39,829	33,117
無形固定資産合計	45,951	38,730
投資その他の資産		
その他	664,475	690,915
貸倒引当金	△23,369	△29,014
投資その他の資産合計	641,106	661,901
固定資産合計	8,694,917	8,683,783
資産合計	16,811,940	16,736,119
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,645,359	1,747,038
短期借入金	3,796,273	3,016,959
未払法人税等	41,679	124,767
賞与引当金	92,700	92,700
ポイント引当金	45,000	43,000
その他	1,012,007	1,295,148
流動負債合計	6,633,019	6,319,613
固定負債		
社債	350,000	-
長期借入金	1,992,402	2,435,590
役員退職慰労引当金	367,655	367,655
退職給付に係る負債	208,219	214,397
負ののれん	3,943	3,661
その他	686,534	607,088
固定負債合計	3,608,754	3,628,392
負債合計	10,241,773	9,948,006



(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年8月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年2月28日)
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,405,498	1,405,498
資本剰余金	1,482,684	1,477,594
利益剰余金	3,777,680	3,932,389
自己株式	△228,223	△162,774
株主資本合計	6,437,639	6,652,708
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	13,705	31,746
その他の包括利益累計額合計	13,705	31,746
新株予約権	118,820	96,809
少数株主持分	—	6,848
純資産合計	6,570,166	6,788,112
負債純資産合計	16,811,940	16,736,119

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
売上高	6,887,051	6,778,898
売上原価	4,788,769	4,773,992
売上総利益	2,098,282	2,004,905
販売費及び一般管理費	1,747,140	1,652,140
営業利益	351,141	352,764
営業外収益		
受取利息	219	220
受取配当金	5,950	15,901
受取賃貸料	6,689	9,904
負ののれん償却額	281	281
助成金収入	9,225	-
その他	7,456	4,566
営業外収益合計	29,822	30,873
営業外費用		
支払利息	57,548	49,423
その他	5,568	6,248
営業外費用合計	63,117	55,671
経常利益	317,846	327,966
特別利益		
投資有価証券売却益	2,863	1,127
新株予約権戻入益	-	337
特別利益合計	2,863	1,464
特別損失		
固定資産売却損	-	538
固定資産除却損	1,307	737
特別損失合計	1,307	1,275
税金等調整前四半期純利益	319,403	328,155
法人税、住民税及び事業税	115,025	117,424
法人税等調整額	△176	△1,023
法人税等合計	114,849	116,401
少数株主損益調整前四半期純利益	204,553	211,754
少数株主損失(△)	-	△2,345
四半期純利益	204,553	214,099

四半期連結包括利益計算書  
第2四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
少数株主損益調整前四半期純利益	204,553	211,754
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	19,849	18,040
その他の包括利益合計	19,849	18,040
四半期包括利益	224,402	229,794
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	224,402	232,139
少数株主に係る四半期包括利益	-	△2,345

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成25年9月1日 至平成26年2月28日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成26年9月1日 至平成27年2月28日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前四半期純利益	319,403	328,155
減価償却費	248,480	214,151
のれん償却額	228	7,488
株式報酬費用	39,876	38,595
賞与引当金の増減額(△は減少)	16,300	-
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	10,557	-
受取利息及び受取配当金	△6,170	△16,121
支払利息	57,548	49,423
固定資産売却損益(△は益)	-	538
固定資産除却損	1,307	737
売上債権の増減額(△は増加)	152,373	△52,618
たな卸資産の増減額(△は増加)	△89,564	△85,664
仕入債務の増減額(△は減少)	△41,218	100,507
未払消費税等の増減額(△は減少)	△45,579	5,884
その他	△135,624	△27,432
小計	527,919	563,643
利息及び配当金の受取額	6,146	16,102
利息の支払額	△57,785	△47,639
法人税等の支払額	△251,519	△35,783
営業活動によるキャッシュ・フロー	224,760	496,321
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形及び無形固定資産の取得による支出	△148,985	△200,505
有形及び無形固定資産の売却による収入	-	13,142
投資有価証券の取得による支出	△44	△12
投資有価証券の売却による収入	10,184	1,718
貸付けによる支出	△100,000	-
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による収入	-	1,102
その他	△81,573	△18,000
投資活動によるキャッシュ・フロー	△320,418	△202,553
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額(△は減少)	-	△700,000
長期借入れによる収入	-	700,000
長期借入金の返済による支出	△349,650	△336,126
配当金の支払額	△118,119	△59,228
その他	△121,347	△125,303
財務活動によるキャッシュ・フロー	△589,117	△520,657
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△684,775	△226,889
現金及び現金同等物の期首残高	4,163,237	3,728,317
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,478,461	3,501,427

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自平成25年9月1日至平成26年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,175,267	711,784	6,887,051
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,175,267	711,784	6,887,051
セグメント利益	542,520	54,059	596,580

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	596,580
全社費用(注)	△245,438
四半期連結損益計算書の営業利益	351,141

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

Ⅱ 当第2四半期連結累計期間(自平成26年9月1日至平成27年2月28日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント		合計
	ヘルスケア事業	医薬品事業	
売上高			
外部顧客への売上高	6,091,213	687,684	6,778,898
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—
計	6,091,213	687,684	6,778,898
セグメント利益	552,367	52,942	605,310

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容  
(差異調整に関する事項)

(単位：千円)

利益	金額
報告セグメント計	605,310
全社費用(注)	△252,545
四半期連結損益計算書の営業利益	352,764

(注)全社費用は、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報  
  該当事項はありません。